

備える。

準備。予備。整備。装備。守備。警備。
そなえる…用意する、そろえる、用心する
防備。常備。完備。不備。具備。兼備。
そなえ…したく、用意、警戒、防衛
備品。設備。備蓄。備具。備考。備忘。
そなわる…準備ができる、身に付く
●●ソナエ アレバ ウレイナシ!!

no. **20**

かわさき
防災広報紙

昭和61年3月31日発行
編集・発行：
川崎市土木局防災対策室
〒210 川崎市川崎区宮本町1番地
TEL.(044)200-2111内線2841



いつもの道。だから、

春！さあ、外へ。

長かった冬もようやく

終わり、めっきり春らしい日が多くなりました。
春の風に誘われて、家の外へ、そして町へ…毎日の通勤や通学、買い物だけではなく、散歩やジョギングと、いろいろ出かける機会がふえてきます。そんなとき、もし《大地震》が起きたら？ どうしたらいいのでしょうか。どうすれば、安全を確保することができるのでしょうか。

《そのとき》あわてないで、できるだけ安全な行動ができるように、一度《いつもの道》を、まわり注意しながら実際に歩いてみましょう。特に、お子さんがいつも通るような道は、クルマに十分注意しながら、一緒に歩いてみて、よく話し合っておきましょう。

《防災の目》で見ながら、《子どもの目》の位置を意識して歩いてみると、いつも通っている道でも、ふだん、つい見過ごしているさまざまな「危険」が、きつと見つかるでしょう。

出かけてみましょう。



★ 毎月15日は川崎市民地震防災デーです ★

そのとき、その場へ、身の安全を。

さあ、お子さんと、通学路や買い物道の道と一緒に歩いてみましょう。

●家を出る時！

- ★ブロック塀、門柱、レンガ……崩れたり倒れたりすると大ケガの元になります
- ★地震の時……はなれる 近寄らない
- ★瓦など……落ちてくる物に気をつける
- ★地震の時……はなれる 近寄らない
- ★電柱、電線……
- ★神社、お寺……
- ★川べり、がけ下……
- ★地震の時……すばやくはなれる

●大通りに出る時！

- ★自動車……揺れのために、ハンドルを取られてしまいます
- ★歩道橋、橋……市内の歩道橋、橋そのものは、落ちません
- ★ガソリンスタンド……
- ★地震の時……すばやく、渡りきってしまおう
- ★地震の時……はなれる

●学校、広場では？

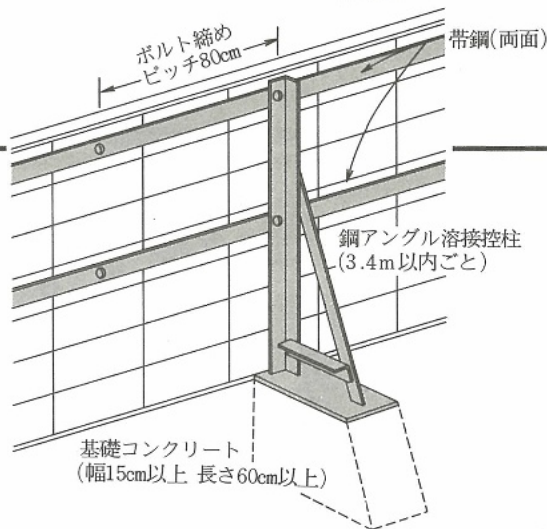
- ★校庭や広場の真ん中は安全
- ★地震の時……真ん中で、腰をおろす

●横丁を曲がって商店街へ！

- ★看板、ガラス、ネオンサインなど
- ★地震の時……特に、ガラス片の落下物に気をつける
- ◆落ちてくる物に気をつける。カバン、買い物袋などで頭を守る
- ◆近くの丈夫なビルなど安全な場所に避難して様子を見る
- ◆※落下物、車の心配のないところは道の真ん中が安全
- ◆※工事現場では……何が落ちてくるかわかりません
- ◆地震の時……すばやく、はなれる
- ★自動販売機など……大型の冷蔵庫のようなもの。倒れる危険もあります
- ★地震の時……すばやく、はなれる

●駅、デパート、地下街では？

- ★落下物、ガラスの被害。しかし、それ以上に、パニックによる混乱、事故が心配されます
- ★地震の時……あわてて、出口や階段に殺到しない。事故の元になります
- ◆地下街などでは、停電になっても誘導灯がつく
- ◆地下街の出口は、60分に1カ所はある
- ◆係員の指示に従って行動する



鋼材による補強例

身の回りの安全 レッスン⑩

ブロック塀の補強

基礎が十分でない、控え壁がない、鉄筋が入っていないなどのブロック塀は、補強などをする必要があります。

体験談 その20

「震度7 78宮城県沖地震体験記集」から(仙台市提供)

目前で地割れ

主婦 佐々木妙子さん

昭和五十三年六月十二日、この日は、なぜか勤めを休み、子供の大好きなカレーを作って、保育所に、二人の子供を自転車で迎えに行き、その帰りの出来事でした。午後五時十分、アラッ……ハンドルがとられる熱があるせいか調子が悪いなど、思いきや「ガチャガチャーン、ドッスン、バタン」と、この時マグニチュード七・四である。

自転車を倒し、二人の子供を両脇にかかえ、カゴからサイフをとり、二十数段の階段を一気につけ登り、公園の真ん中まで逃げました。両側のアパートが倒れても、私達は絶対にケガをしないですむとの確信、とつきの計算が頭の中を走った。でも走る目目が地割れした時には、もう駄目かと……。

今にして思うと、よくもまあ……とタメ息がでる。揺れがおさまり、気が持ちが落ち着くと家の中が心配になり、もどってみると玄関を開けたらたん「ギャー」ゲタ箱はひっくり返り、茶ダンスはおじぎして全部こわれ、調味料のビンもこわれまわりはベタベタ、テレビは、二層もとばされて寝ているし、タンスは、泥棒にでも入られたみたいになって中の物はでてきて倒れているし、まとも立っているのは、二段ベットだけおまけに、今晚のおかずは、タッポリ作ったのに、しゃもじでもすくえ

なくらいしか残っておらず……。とにかく、台所をかたづけなくては、マジックリンをまき、雑布でふき取って捨てた。この際と思いつき水をまいて油分を取り終え、飲み水をヤカンにとったとたん断水。停電、ガスは出ず、主人に連絡と電話入れても通じず、ロウソクの灯りで、少しでも多くかたづけなくてはと思いつきながらもなかなかかたづけず、そして子供達は恐怖のあまりそばから離れず……ハッキリしているのはバカだけはひくといわれている夏カゼをひいた母親だけかも……。主人が帰ってきて、やっつとバッテリーから電源をひき、我が家だけ灯りがゴウゴウとついた。でもラジオを聞きながら余震が続き不安でいたたまれなかった。明日からは、しばらく食事の用意も大変、しかし考えてみると、戦争を味わったことのない私は、昔にもどつたみたいでチョッピリの期待があった。それにしても、水がほしく、水道管が破れたときは、トッパを切って洗剤とおしめをもつていざんで飛んでいった。この、あさましさに私自身あきれてしまうことしきり……。

新聞を見ると、オピサンビルの一階がつぶれ「ピサの斜塔か？」などとシャレして書いてあるが、被害があまりにも多く、私もおどろいてしまった。

この地震で亡くなった方、ケガをした方、そして家をなくした方達が多い中で、物だけなくした我が家は、この様な体験しかありません。が、しかし「明日は我が身」と思いつつ、物の大切さを教えられたことを頭におき毎日の生活をさせていただいている私です。



さあ、あなたの通勤・通学ルートの安全はいかがですか？
危険は、まだまだ、たくさんあります。十分に注意しましょう。

防災センターだよ

「防災センターのご利用を」

防災センターの広場一面に、クローバーが芽を出す季節となりました。みなさんの防災学習の場として、ふだんから、大勢の方に防災センターは利用されています。利用の方法は、学校の児童・生徒の見学をはじめとして、企業の職場防災研修、消防署主催の講習会そして、町内会、婦人会などの地域のみなさんの見学などです。川崎区の藤崎町内会では、自主防災組織の訓練の一環として、事前に当センターで防災学習を行うという方法で、防災センターを利用しています。団体で見学の場合、映画、講演、施設見学などで、だいたい1時間半ぐらいです。内容・時間など詳細は、お問い合わせください。

●ご利用・ご見学のお問い合わせは
川崎区小田7-3-1
川崎市南部防災センター
☎355-2175
交通＝国鉄川崎駅東口9番バス乗り場
臨港バス 富士電機行
「小田小学校前」下車 徒歩6分

●先月号(No.19)裏面の下段の表に「気象庁震度階級」となっておりましたが、「東京都作成」の誤りです。おわびして訂正します。